

防災・消防の ピクトグラム・マーク・標識

知っていれば
いざという時に「安心、」



CONTENTS

1 災害から避難する



…3P

2 帰宅困難者になったら



…5P

3 心肺機能停止した人を助ける



…6P

4 初期火災を消火する



…7P

5 建物内での火災から避難する



…9P

6 防災品を使う



…11P

7 劇場・ホテル等の
防火管理について
確認する



…12P

8 消防隊が利用する
施設に気をつける



…13P

9 劇場・デパート等
で気をつける



…14P

編集発行：一般財団法人 日本防火・危機管理促進協会

この冊子は、宝くじの社会貢献事業として助成を受け作成されたものです。



1 災害から避難する



避難場所等について多くの人に容易に理解されるよう、そのピクトグラムの標準化がすなわち、災害の種類に応じて安全な避難ができるよう「災害種別避難誘導システム

」が定められています。
(JIS29098)」が定められています。

1-1 災害種別・注意のピクトグラム

避難場所標識などに用いる5種類の災害種別のピクトグラムと災害危険のある場所

を示す標識などに用いる3種類の注意のピクトグラムがあります。

	災害種別	一般図記号	注意図記号
	洪水・ 内水氾濫	 内水氾濫とは、降水量が雨水の排水能力を超え浸水する現象です。洪水と内水氾濫とは、避難方法が概ね共通するため同一区分とされています。	—
	高潮・津波	 高潮とは、台風などの低気圧により海面が上昇する現象です。津波と高潮とは、避難方法が概ね区分とされています。	 台風の時、地震が発生した時には注意が必要になります。
	土石流	 土石流とは、集中豪雨などにより川底や山腹の多量土砂、石などが下流に流れ下る現象をいいます。	 大雨や台風などの際に特に注意が必要です。
	崖崩れ・ 地滑り	 同じ土砂災害でもら別に区分されて土石流とは事象が異なることがあります。	 大雨や台風の時だけでなく、大きな地震が発生したときも、地すべりに気を付ける必要があります。
	大規模な火事	 大規模地震発生時などに起こる広範囲に延焼拡大した火災です。	—

1-2 避難場所等のピクトグラム

災害時に避難するための場所は、次の4つに区分されています。

避難場所

大規模な災害発生時に一時的に安全を確保するために避難する場所（広域避難場所）です。



避難所

自宅が被災したため一時的に避難生活をおくるための建物です。



津波避難場所

津波から逃れるための高台などの安全な場所です。



津波避難ビル

津波から避難する際に近くに高台等がない場合に一時的に避難するための建物です。



上記の避難場所等のピクトグラムを用いた、次ページに示すような避難誘導標識や避難場所標識を見かけたら、どのような災害で、まずどこに避難するのか、しっかりと記憶にとどめておきましょう。



災害が起きた時はここに避難しよう！

1-3 避難誘導標識・避難場所標識

1-1、1-2 のピクトグラムを用いた次のような標識が街中に掲げられています。

避難誘導標識

右の例は、洪水/内水氾濫、津波/高潮、大規模な火事に対し、一時的な避難をするための避難場所（広域避難場所）への避難方向と距離を示す避難誘導標識です。



避難場所標識

右の例は、この標識が掲げられた場所が避難場所であることを示す避難場所標識です。



注意のピクトグラム

注意のピクトグラムが用いられた避難場所案内や注意標識を見かけたら、どこが災害危険箇所とされているのかよく記憶にとどめておきましょう！



2 帰宅困難者になったら

災害が発生した際に通勤・通学・買物などで外出中であつた方の中には、鉄道等の交通機関の運行停止、道路の渋滞発生により、帰宅することが困難になる方が多く発生します。

こうした帰宅困難者に対しては、事業所・学校における従業員・生徒等の一定期間の収容体制の整備や一時的な滞在施設の提供など、色々な対策が考えられています。



災害時帰宅支援ステーションのステッカー



帰宅困難者が徒歩で帰宅できる状況になったときに、水、トイレ、道路情報などを提供してくれるのが災害時帰宅支援ステーションです。

九都県市

埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市

関西広域連合

滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市

これらの地域においては、協定に基づき災害時帰宅支援ステーションのステッカーが店舗（コンビニ、ファミレス等）に掲示されています。

また、各地のガンリンスタンドにおいても、同様の取り組みがされています。



外出中に災害に遭ってしまった時どのように行動すればよいか、家族みんなよく話し合っておくことが大切です。



3 心肺機能停止した人を助ける



AEDは、心筋梗塞など突然のきっかけで正常に拍動できなくなった心臓に電気ショックを加えることで、心臓の拍動を正常に戻す医療機器です。

AEDは国内に60万台以上設置されていますが、未だ十分な活用がされているとはいええない状況にあります。



AEDのマーク



2019年にAEDの案内用図記号が決められました。

心肺機能停止により倒れた方を発見したら、付近にいる方と協力して一刻も早く心肺蘇生の開始、119番通報を行うとともに、AEDを持ってきてもらい（AEDがある場所は、全国AEDマップで検索することもできます）、音声ガイドに従ってAEDの操作を開始します。

下記QRコードから
全国AEDマップを
検索できます。



心肺機能停止に陥った人が社会復帰できる割合を少しでも増やすため、多くの方が心肺蘇生法とAEDの使用法について習得することが望まれています。



4 初期火災を消火する

消火器は、最も基本的な初期消火のための設備で、事業所などには原則として歩行距離20m以下となるように配置されています。

いざという時にすぐに消火器が見つかるよう、消火器の設置個所には「消火器」と表示した標識を見やすい位置に設けることとされています。

消火器の操作方は簡単です。本体容器に必ず操作方法が表示されています。また標識に併せて表示されていることもあるので、確認しましょう。各地の防災センターなどで操作方法を一度体験しておくとうれしくなります。

消火器



消火器に使われている薬剤等により、適応する火災の種類が異なります。

火災の種類は、普通火災 (A火災)、油火災 (B火災)、電気火災 (C火災) に分類されますが、適応する火災については消火器本体に表示されています。



普通火災 (A火災)



油火災 (B火災)



電気火災 (C火災)

また、家庭でよく使われる住宅用消火器には、住宅火災の特性に応じた次の表示がされています。



普通
火災適応



てんぷら油
火災適応



ストーブ
火災適応



電気
火災適応



いずれの種類火災にも適応する消火器があります。

一般的によく設置されている消火器には粉末 (ABC) あるいは強化液の薬剤が用いられています。これらはいずれの種類火災にも適応しています。

屋内消火栓設備

火災が拡大し炎が天井面に達しそうであれば、消火器での初期消火は危険です。屋内消火栓設備が設置されているのであれば、消防隊到着までこれを用いた初期消火を行います。屋内消火栓設備の操作方法も難しくありません (消火栓ボックスの扉に操作方法が表示されています)。

この消火栓はひとりでも操作できます



特に左のピクトグラムが表示されている屋内消火栓設備は、一人で操作可能なものですから、建物関係者の方は訓練等を通じて操作方法を覚えておきましょう。

5 建物内での火災から避難する

多くの人利用する建物内で火災が発生した場合、非常口を見つけて安全に避難しなければなりません。避難を容易にするための設備が誘導灯です。

火災で停電が発生しても、非常電源を備えており、誘導灯の灯りを点けて行けば容易に非常口を見つかることができるよう設置されています。

通路誘導灯

矢印が示す方向に点けて行けば非常口が見つかるように廊下などに設置されています。



避難口誘導灯

屋外に出ることができる出入口のほか、階段室や廊下に通じる部屋の出入口付近などに設けられています。



日頃見過ごしていることが多い誘導灯の設置場所を確認することにより、火災時の避難経路や非常口の位置を再確認しておきましょう。

また、旅行や仕事でホテルなどに宿泊する際は、部屋に着いたらまず避難ルートを確認しましょう。



階段が使えない場合は避難器具を使いましょう。

火災が起きたときは階段を使って避難しますが、階段が1つしかなくてその付近が燃えている場合などには、避難器具が設置されていればこれを使って避難することができます。

避難器具は、普段あまり気に留めることがないかもしれませんが、避難器具が設置されている場所には次のような標識が掲げられています。

避難器具

避難器具が設置されている場所やその使い方を事前に知っていれば、いざという時落ち着いて行動できます。

避難はしご

マンションのベランダなどに設置されている避難はしごは、他の部屋にお住まいの方の避難のためにも使用されるものです。

避難ハッチの蓋の上や隣接住戸との間の隔て板の前面に物を置かないように注意しましょう。



6 防災品を使う



カーテンのような燃えやすい繊維製品などに着火すると、火が一気に拡大してしまいます。そのため劇場、飲食店、ホテル、病院などの建物において使用されるカーテン、工事用シート、展示用合板などの物品については、消防法により、**燃えにくい性能を有するものでなければならぬ**とされています。

この燃えにくい性能は見た目では判断できないため、右のような表示で判断できるようになっています。



家庭の寝具や衣類にも燃えにくい製品を使う。

住宅などで使用される寝具や衣類なども火災被害を大きくする要因となることから、これらの製品についても燃えにくい性能を有するものを使うことが推奨されています。こうした製品には、(公財)日本防災協会が認証する次のようなロゴを配したラベルが付されています。



とりわけ火災による死者数が多いお年寄りの方などには、こうした防災品の使用が火災被害防止のため有効といえます。



7 劇場・ホテル等の防火管理について確認する

劇場、デパート、ホテル、病院などの防火管理が特にしっかり行われているかどうかを見極めるために、**防火優良認定証**等を確認することが有効です。



防火優良認定証



防火優良認定証

一定規模以上の劇場等は、定期的に防火管理等の実施状況について点検し、報告することが義務付けられていますが、その状況が優良なものとして認められたものには「防火優良認定証」を掲げることができることとされています。

適マーク(金)



年月 表示基準適合
消防本部

ホテル・旅館等については、防火対象物に係る表示制度に基づき、優良であると認められた場合は次の「表示マーク(金)」が交付されています。

8 消防隊が利用する施設に気をつける



非常用進入口（消防隊進入口）

建築基準法では高さ31m以下の部分にある3層以上の層には、消防隊が火災時などに利用する**非常用の進入口**（又はこれに代わる非常用エレベーター、窓等）を**設ける**こととされています。



非常用進入口には表示をすることとされており、進入口の付近（内外）に障害物を置かないよう注意する必要があります。

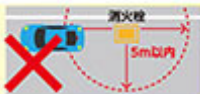


消火栓

火災時に消防隊が使用する**消防水利**としての消火栓には、その存在を示すための標識が付近に設置されていることがよくあります。



道路交通法により、消火栓から5m以内の部分は駐車禁止とされているのでドライバーの方は注意が必要です。



9 劇場・デパート等で気をつける

劇場、デパート、重要文化財建造物などの指定された場所では、市町村の**火災予防条例**により**喫煙・裸火の使用が禁止**されています。これに関する標識に用いる図記号は、次のものが使用されてきました。



2023年2月に火災予防条例（例）の一部改正が行われ、条例施行後に設けられる図記号については、ISO7010又はJISZ8210に適合するものを用いることとされています。



ISO7010



JISZ8210



これらの表示がある場所での火気の使用や危険物品の持ち込みには十分気をつけましょう。

小冊子の作成に当たっては、次のホームページに掲載されている資料を参考にしました。

- 内閣府ホームページ：防災情報のページ
- 東京都ホームページ：帰宅避難者対策
- 関西広域連合ホームページ：広域防災
- （社）日本消防器具工業会ホームページ：消火栓について詳しく知ろう
- （公財）日本防災協会ホームページ：わたくし達のくらしと防災品
- 総務省消防庁ホームページ：火災予防等

宝くじは、みんなの暮らしに役立っています。



移動採血車

全国各地で運行している
献血バスを寄贈



ベンチ

全国の公園緑地等に
ベンチを設置



フラワープランター

観光地の環境美化活動の
推進を目的として寄贈



宝くじ桜

日本全国に
さくら若木を寄贈



車いす

博物館利用者のために
車いす等を寄贈



一輪車

体力づくり実践校等に
一輪車を寄贈



バス停留所施設

バス停上屋と
風防施設を設置



すこやか広場

こどもの国(神奈川県)に
健康器具や遊具を設置



検診車

胃部・胸部X線撮影車
として寄贈

宝くじは、少子高齢化対策、災害対策、公園整備、
教育及び社会福祉施設の建設改修などに使われています。



一般財団法人日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や
公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。
<https://ja-takarakuji.or.jp/>



一般財団法人
日本宝くじ協会